

商店街NEXTチャレンジャー育成事業 の取り組みについて

平成31年3月Ver.

Ryota Kito まさかの世界配信!?



Journneys in Japan. NHK World Japan. /Nichinan: A Port City Reviving



ジャーニーズインジャパン



注目すべきは、旅番組なのに商店街の再生ストーリーが中心に描かれていて“食”や“景勝地”といったいわゆる“観光スポット”だけでなく、

“まちおこし”

“活性化に努力する人々”がその地域に息づく“資源”としてクローズアップされているところです。

さらには、まちづくりの“難しさ” さえも、面白みとしています。

“観光”あるいは“商店街再生”の新しい概念を表現したものになっています。

On Demand

Video Audio Programs Playlists

We kept the original wine-red finish.

Nichinan: A Port City Reviving
Journeys in Japan

28m 00s

Broadcast on February 12, 2019
Available until February 12, 2020

Share icons: Twitter, Facebook, LINE

福岡市 商店街 NEXT チャレンジャー

育成
事業

若者・女性 限定で募集

アドバイザー 木藤亮太／福岡大学商学部 杉本・飛田

32

名

- ①商店街から(若い世代を中心に)
- ②商店街という商売空間に興味がある
- ③商店街のまちづくりに興味がある

Programを固定しない

最初は参加者から

現状や悩みを聞き

課題を把握

交流や対話を重視

参加者同士で

コミュニティ

をつくる感覚

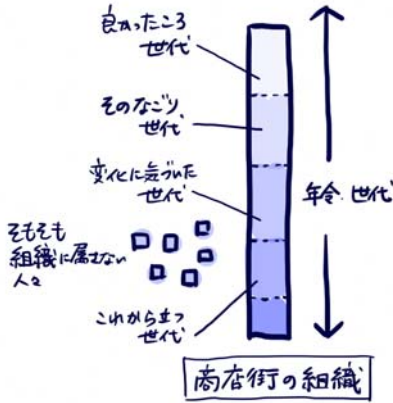
答えを導かない

気づきを重視

体験を通して

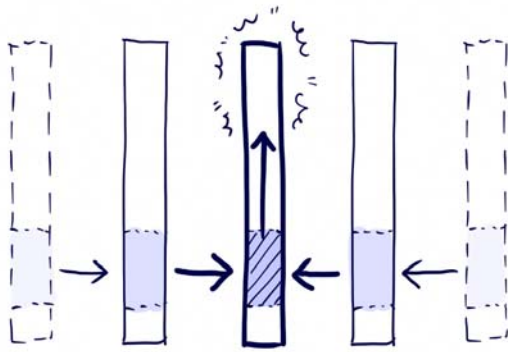
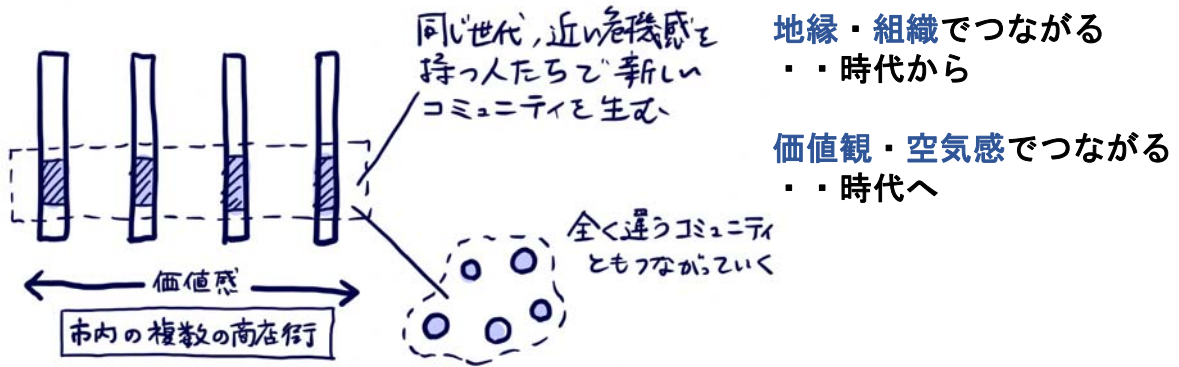
目を養う

商店街NEXTチャレンジャー育成事業の基本的な考え方



縦につながっているのが基本形
 世代・年齢の**ギャップ**が存在し、新たなものを生むことに**障害**が生まれている（なかなか語られない本音）。

組合組織
 入るのが当たり前の時代・・・から、
 メリットがなければ入らない・・・の時代へ。



横のつながりから**力**をもらって...
 上にぶっ飛んでいく... **核**となる人材
 = 商店街NEXTチャレンジャー

価値観のつながりから得られる**勇気**

勇気を変換して沸き立つ**行動力**

人の商店街を見て
 あーだこーだ言って
 自分なりの気づきを
 得て、提案・発表する

その後、自分のまちに
 帰ったときに
 何か違う見え方がする
 のではないか？

参加者が**チーム**をつくり
 対象の商店街を**自分たち**で決め
 課題把握や解決方法を探ることを目的に
同世代の商店街関係者たちと
 交流しながら**思考錯誤**する時間を過ごす
 答えを**急ぐ**ことはせず

客観視
 できる

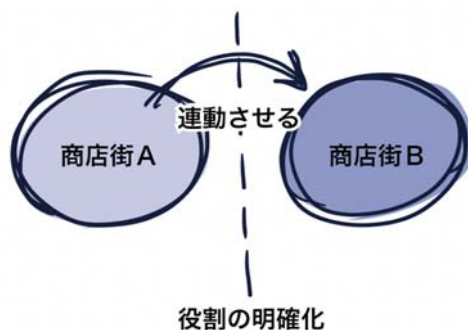
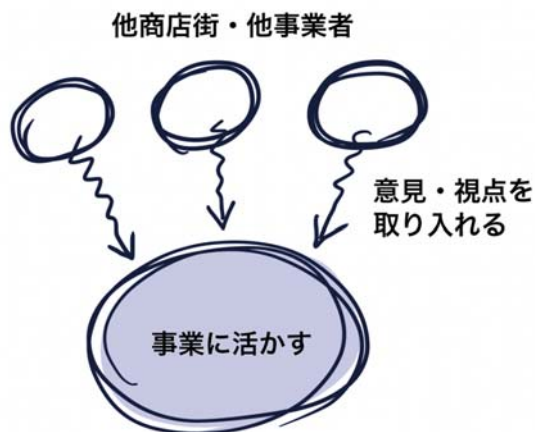


を養うことを
 目的とする

商店街NEXTチャレンジの4つの方法

連携①: 他商店街の視点を取り入れる

連携②: 役割を確認して連動させる



- ・ワークショップなどで意見を交換する
- ・商店街へのヒアリングで意見を聴取する

- ・それぞれの商店街の役割を確認
- ・連携プレイができるシステムを構築

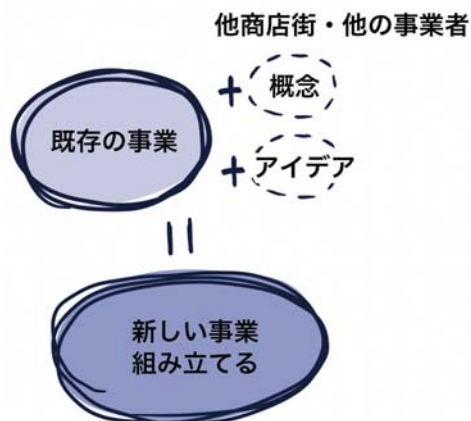
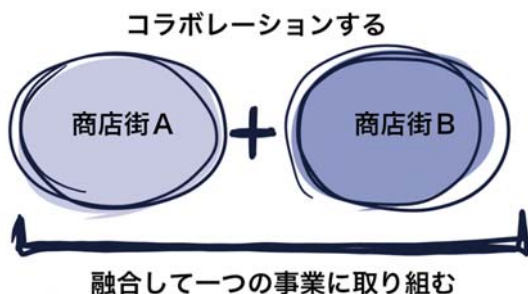
★他商店街の意見を聞いて、美野島商店街の魅力や可能性を改めて認識

★香椎と御供所の性格の違いを活かした連携のしくみを模索

商店街NEXTチャレンジの4つの方法

連携③: 事業をコラボレートさせる

連携④: 他事業の概念を取り入れ
新しい概念の事業をつくりあげる



- ・お互いのメリット・デメリットを明確化
- ・プロジェクト会議を立ち上げる

- ・事業の弱みを本質的に知る
- ・弱みを強みにするために異分野の考え方を導入する

★大橋と香椎が連動したクリスマスマーケット

★柳橋の良さと弱みを活かした企画

商店街NEXTチャレンジの今後

